

# 養豚農業実態調査票(平成28年度)

一般社団法人日本養豚協会(JPPA)

## 1 調査目的

本事業は、養豚業におけるコスト削減や生産性の向上の取組等の実態を把握し分析することにより、養豚経営の体質強化に資することを目的に、農林水産省所管の独立行政法人農畜産業振興機構の補助を受け、一般社団法人日本養豚協会が実施するもので、全養豚生産者を対象にしております。

## 2 調査項目

経営の概況、繁殖・肥育等の成績、交配方法、経営の推移と今後の動向、衛生レベル、環境対策などについてお伺いいたします。

## 3 調査票記入についてのお願い

- ・調査票は原則経営体単位でご記入くださるようお願いいたします。
- ・ただし、複数の農場を経営しており、他の都道府県(以下「県」という。)にも農場を経営している場合は、県別に調査票に記入してください。
- ・また、同一県内に複数農場を経営しており、農場の経営タイプ等が異なるなどVI以下の設問について別に記入した方が良いと考えられる場合も別々の調査票に記入してください。(調査票については1部しか送付しておりませんが、お手数でも当会のホームページから打ち出すか当協会に電話で追加請求してください。)
- ・同一経営体で複数の調査票に回答した場合は、メインの調査票に1経営体全体としての設問の回答を記入するとともに、他の調査票には「I 経営者等」及び「V 経営養豚農場等数」を記入し、VI以下の設問に回答してください。
- ・必ずボールペン、万年筆、サインペンなど消えにくいもので記入してください。(鉛筆では記入しないでください。)
- ・回答は番号の( )に○をするものと、□に数値を記入するもの、また、文章を記入するものがあります。□の数値の記入に当たっては、1つの枠に1文字ずつ右詰で記入してください。
- ・お手数ですが、経営中止された方又は廃業された方は、2頁に法人名等、経営者名、所在地を記入するとともに、2頁下段の注の該当欄に○を記入して返送してください。

## 4 調査票、調査結果の取扱いについて

- ・ご記入後は、同封の返信用封筒にいれ、**11月18日(金)**までに当協会あるいは返信用封筒の県組織までご投函下さるようお願いいたします。
- ・日本養豚協会及び県組織では、担当者が当協会及びそれぞれの県組織の「個人情報保護規程」(当協会<http://pig.lin.gr.jp>掲載)に従って管理するとともに内容確認を行います。
- ・データ入力は、当協会の「個人情報保護規程」に基づき契約を交わした業者に依頼します。
- ・データは、当協会及び県組織の決められたコンピュータ上で担当職員のみ処理、閲覧が出来ないように管理します。
- ・最終調査結果については、全国、地域(ブロック)別に集計、分析し報告書としてとりまとめます。(都道府県毎の集計や、個人情報は一切公表しません。)

## 5 報告書及び粗品の送付について

- ・ご協力いただいた方には、報告書及び粗品をお送りいたします。

【問い合わせ先】 一般社団法人日本養豚協会 ( J P P A )

小磯 (E-mail:koiso@pig-pins.com)

山梨(E-mail:yamanashi@pig-pins.com)

〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-27-15高栄ビル2階

TEL : 03 ( 3 3 7 0 ) 5 4 7 3 / FAX : 03 ( 3 3 7 0 ) 7 9 3 7

## I 経営者等

(フリガナ) 法人名等 <sup>※</sup>	( )	(フリガナ) 経営者名	( )	性別 男・女  生年 大正 昭和  平成 西暦 年
<p>※ 有限会社、株式会社、合資会社等の法人格を必ず記入してください。また法人の中に養豚を統括する部署がある場合は部署名も記入してください。</p> <p>※ 個人経営の場合、「法人名等」は記入の必要はありません。</p>				
所在地	〒 - 都道 市 区 府県 郡 町村			
電話番号			F A X 番号	
メールアドレス <sup>※※</sup>	@			
記入者名 <sup>※※※</sup>		経営者との関係	連絡先(住所)	連絡先(メールアドレス等)

※※ メールアドレスの記入は任意ですが、極力記入をお願いいたします。

※※※ 記入者名は、経営者以外の方が記入した場合は記入をお願いいたします。また、この場合、住所、メールアドレス等連絡先を記入してください。

## II 経営形態 (1から7の中から○は1つだけ)

<p>1 ( ) 個人経営 (家族労働主体)</p> <p>2 ( ) 農事組合法人</p> <p>3 ( ) 有限会社 (LLC法人を含む。)</p> <p>4 ( ) 合資会社・合名会社</p> <p>5 ( ) 株式会社</p> <p>6 ( ) 農業協同組合法人 (農協等) の直営養豚場</p> <p>7 ( ) その他 (都道府県、公益法人、学校法人等上記1から6以外)</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

●契約・預託農場であるか・否か (○は一つだけ)

<p>1 ( ) 会社、農協、民間養豚場等の契約・預託農場である。</p> <p>2 ( ) 会社、農協、民間養豚場等の契約・預託農場ではない。</p>
------------------------------------------------------------------------------

## III 養豚従事者数

1 ( ) 家族労働 (経営主本人、配偶者、子、孫、きょうだい、父母、祖父母等)	..	<input type="text"/>	人
2 ( ) 常勤雇員 (社員、契約社員、パート、アルバイト)	.....	<input type="text"/>	人
3 ( ) 非常勤雇員 (必要な日、必要な時間で雇用)	.....	<input type="text"/>	人
4 ( ) その他 (豚肉加工・販売など担当)	.....	<input type="text"/>	人

(注) 経営を中止又は廃業されている場合は、法人名等、経営者名、所在地をご記入の上、下記該当欄に○を記入して返送してください。(この頁のみFAX可)

( 1 ( ) 経営中止、 2 ( ) 廃業 )

**IV 後継者** (○は1つだけ、1又は2に○の場合は年齢を記入)

1 ( ) 決まっている。…………… (後継者の年齢  歳)

2 ( ) 対象者はいるが、現在は決まっていない。…………… (対象者の年齢  歳)

3 ( ) 自分の年齢が若いので考えていない。

4 ( ) 後継者はいない・後継者は考えていない。

5 ( ) 経営形態が後継者と関係ない。(株式会社等)

**V 経営養豚農場数等**

経営養豚農場所在県	養豚農場数	農 場 名	以下の農場についてVI以下の設問に回答
県名 ( )	<input type="text"/>	( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )	左と同様 または 以下の農場 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )
他の県にある経営農場数		(県名 (農場数 ) ) (県名 (農場数 ) ) (県名 (農場数 ) ) (県名 (農場数 ) )	

**VI 経営タイプ** (○はいくつでも) 【①経営体全体について回答 ②Vの右欄の農場について回答】(①又は②のどちらかに○、以下同じ)

1 ( ) 一貫経営

ア ( ) 一貫経営の繁殖農場

A ( ) 純粋種豚生産農場

B ( ) 純粋種豚と子取り用雌豚生産農場

C ( ) 子取り用雌豚生産農場

D ( ) 肉用子豚の生産農場

イ ( ) 一貫経営の子豚育成農場

ウ ( ) 一貫経営の肥育農場

エ ( ) 一貫経営の一貫生産農場

オ ( ) 一貫経営の豚人工授精所

2 ( ) 繁殖経営

ア ( ) 純粋種豚生産農場

イ ( ) 純粋種豚と子取り用雌豚生産農場

ウ ( ) 子取り用雌豚生産農場

エ ( ) 肉用子豚の生産農場

オ ( ) 豚人工授精所

3 ( ) 肥育経営

**Ⅶ 飼養頭数** (平成28年8月1日現在) 【①経営体全体について回答 ②Vの右欄の農場について回答】

1 女子取り用雌豚(育成豚を除く。)品種・品種組み合わせ別頭数

純粋種	品種	ランドレース /L	大ヨークシャー /W	中ヨークシャー /Y	パークシャー /B	デュロック /D	ハンブシャー /H	その他	計
	頭数								
交雑種	品種	LW	WL	※ LW.WL何れか		※※その他の組み合わせ		海外ハイブリッド	計
	頭数						(※※※ )		

※ LWとWLの頭数区分が出来ない場合は合計数を「LW、WL何れか」に記入

※※「その他の組み合わせ」には、組み合わせ品種不明を含む。

※※※の( )にはハイブリッド名を記入

2 ♂利用中の種雄豚(育成豚を除く。)品種・品種組み合わせ別頭数

純粋種	品種	ランドレース /L	大ヨークシャー /W	中ヨークシャー /Y	パークシャー /B	デュロック /D	ハンブシャー /H	その他	計
	頭数								
交雑種	品種	HD	DH	BD	DB	※その他の組み合わせ		海外ハイブリッド	計
	頭数							(※※ )	

※「その他の組み合わせ」には、組み合わせ品種不明を含む

※※の( )にはハイブリッド名を記入

- 3 育成豚(繁殖利用予定で未交配(雌、雄)のもの) ..... 頭
- 4 子豚(子豚舎、子豚豚房で飼養しているもの+哺乳中のもの) ..... 頭
- 5 肥育豚(肥育舎、肥育豚房で飼養しているもの) ..... 頭

**Ⅷ 出荷頭数等** (平成27年1~12月の総頭数) 【①経営体全体について回答 ②Vの右欄の農場について回答】

- 1 年間肉豚出荷頭数 ..... 頭
- 2 繁殖豚(雄、雌)年間廃用頭数 ..... 頭
- 3 年間肉用子豚出荷(同一経営の農場間移動を含む。)頭数 ... 頭
- 4 種豚候補豚(純粋・F1等)の出荷(同一経営の農場間移動含む。)頭数 ..... 頭

**Ⅸ 肉豚出荷日数、出荷体重、枝肉重量** (平成27年1~12月の総頭数) 【①経営体全体について回答 ②Vの右欄の農場について回答】

- 1 肉豚出荷日齢平均(生後日齢) ..... 日齢
- 2 肉豚出荷生体重平均 ..... kg
- 3 肉豚1頭当たり枝肉重量平均 ..... kg

**X 繁殖・肥育等の成績** 【①経営体全体について回答 ②Vの右欄の農場について回答】

1 繁殖成績 (平成27年1～12月の平均)			
ア 1腹当たり(1分娩当たり) 平均哺乳開始頭数	.....	<input style="width:40px;" type="text"/>	<input style="width:30px;" type="text"/> 頭
イ 1腹当たり(1分娩当たり) 平均離乳頭数	.....	<input style="width:40px;" type="text"/>	<input style="width:30px;" type="text"/> 頭
ウ 平均育成率 (イ÷ア×100)	.....	<input style="width:40px;" type="text"/>	<input style="width:30px;" type="text"/> %
エ 平均受胎率 (受胎頭数÷種付頭数×100)	.....	<input style="width:40px;" type="text"/>	<input style="width:30px;" type="text"/> %
オ 平均分娩率 (分娩頭数÷種付頭数×100)	.....	<input style="width:40px;" type="text"/>	<input style="width:30px;" type="text"/> %
カ 母豚の年間平均分娩回数 (年間分娩数÷常時子取り用雌豚頭数)	.....	<input style="width:40px;" type="text"/>	<input style="width:30px;" type="text"/> 回
-----			
2 年間肉豚出荷頭数の格付割合 (平成27年)			
ア 格付している割合			
A 日格協の格付 (年間日格協格付頭数÷年間出荷頭数×100)	.....	<input style="width:40px;" type="text"/>	<input style="width:30px;" type="text"/> %
B 自主格付 (年間自主格付頭数÷年間出荷頭数×100)	.....	<input style="width:40px;" type="text"/>	<input style="width:30px;" type="text"/> %
イ 格付していない(生体出荷)割合 (年間生体出荷頭数÷年間出荷頭数×100)	.....	<input style="width:40px;" type="text"/>	<input style="width:30px;" type="text"/> %
(格付けしていない理由: )	計	100	0 %
-----			
3 「上」物率 (平成27年)			
格付している肉豚の上物率 ((年間「極上」+「上」頭数)÷年間出荷頭数×100)	.....	<input style="width:40px;" type="text"/>	<input style="width:30px;" type="text"/> %
-----			
4 農場飼料要求率 (平成27年)			
農場飼料要求率 (期間飼料消費量÷期間増体重)	.....	<input style="width:40px;" type="text"/>	<input style="width:30px;" type="text"/>
-----			
5 事故率 (平成27年1～12月の平均)			
ア 子豚舎・子豚豚房(離乳後から肥育組入れまで)	.....	<input style="width:40px;" type="text"/>	<input style="width:30px;" type="text"/> %
<small>(期間内の離乳後から肥育組み入れ間の事故頭数÷期間内の総離乳頭数×100) (○は1つだけ)</small>			
A ( ) 前年より良くなった。			
B ( ) 前年と変わらない。			
C ( ) 前年より悪くなった。			
イ 肥育舎・肥育豚房(肥育組入れから出荷時まで)	.....	<input style="width:40px;" type="text"/>	<input style="width:30px;" type="text"/> %
<small>(期間内の肥育組み入れから出荷時の事故頭数÷期間内の総肥育組入頭数×100) (○は1つだけ)</small>			
A ( ) 前年より良くなった。			
B ( ) 前年と変わらない。			
C ( ) 前年より悪くなった。			
ウ 通期(離乳後から出荷時まで) ※	.....	<input style="width:40px;" type="text"/>	<input style="width:30px;" type="text"/> %
<small>(期間内の離乳後から出荷時の事故頭数÷期間内の総離乳頭数×100) (○は1つだけ)</small>			
A ( ) 前年より良くなった。			
B ( ) 前年と変わらない。			
C ( ) 前年より悪くなった。			
※ ア及びオに分けて事故率を把握していないが、通期で把握出来る場合はウの欄のみ記入してください			



6 事故率改善の対策を実施していますか。 【①経営体全体について回答 ②Vの右欄の農場について回答】

ア ( ) 事故率改善のための対策をした

- A ( ) 豚舎の新築、改築
- B ( ) 生産方式の変更
- C ( ) 生産環境の改善
- D ( ) 衛生対策

- a ( ) 農場衛生HACCPの導入
- b ( ) 疾病予防マニュアルの見直し、徹底
- c ( ) 管理獣医師による検査と指導の導入
- d ( ) 豚舎消毒の徹底
- e ( ) 施設のゾーニング
- f ( ) ワクチネーションプログラムの見直し、変更

E ( ) その他

イ ( ) 対策は実施していない

**XI 交配方法** 【①経営体全体について回答 ②Vの右欄の農場について回答】

1 発情期の基本交配（授精） (○は1つだけ)

- ア ( ) 1回
- イ ( ) 2回～3回
- ウ ( ) 4回以上
- エ ( ) 不明

2 交配方法 (○は1つだけ)

- ア ( ) 自然交配のみ（人工授精は全く行っていない。）
- イ ( ) 自然交配を主とし、人工授精を従としている。
- ウ ( ) 人工授精を主とし、自然交配を従としている。
- エ ( ) 人工授精のみ

3 交配方法の対象雌豚割合

ア 自然交配のみで交配している雌豚 .....	□ □ □ . □ %
イ 自然交配と人工授精を併用している雌豚 .....	□ □ □ . □ %
ウ 人工授精のみで交配している雌豚 .....	□ □ □ . □ %
計	1 0 0 . 0 %

4 人工授精を実施している方 (2でイ、ウ又はエと回答した方)

ア 精液の入手方法について (○は1つだけ)

- A ( ) すべて自家産(同一経営の別農場産も含む。)
- B ( ) すべて外部(都道府県試験場、民間人工授精所等)から購入
- C ( ) 自家産と外部導入の併用

イ 生産、導入本数とボトルの容量 (平成27年)

A 年間自家生産本数 .. ボトル		本 .....	一本の容量		CC
B 年間外部導入本数 .. ボトル		本 .....	一本の容量		CC

5 人工授精の今後の意向をお伺いします。 (アからオの中から1つだけ○)

ア ( ) 人工授精は今後も実施する。 (○をした方はAからCに1つだけ○)

- A ( ) 人工授精の割合を増やしたい。  
 B ( ) 人工授精の割合を維持したい。  
 C ( ) 人工授精を割合を縮小したい。

- イ ( ) 人工授精をやめたい。  
 ウ ( ) 人工授精をすぐに導入する予定(導入したい。)  
 エ ( ) 人工授精の導入を今後検討してみたい。  
 オ ( ) 今後も人工授精の導入は考えていない。

**XII 給与飼料** 【①経営体全体の回答 ②Vの右欄の農場について回答】

1 飼料給与体系 (○は1つだけ)

- ア ( ) 市販配合飼料のみ (配合割合等を指定してメーカーに配合させたものを含む。)  
 イ ( ) 市販配合飼料 + 自家配合飼料  
 ウ ( ) 自家配合飼料のみ (単味飼料等(エコフィードを含む。)の原料を調達して自ら配合・調整したもの)

2 年間使用量 (平成27年度)

ア 配合飼料 . . . . . 

--	--	--	--	--

 t

イ 飼料用米 . . . . . 

--	--	--	--	--

 t

ウ エコフィード . . . . . 

--	--	--	--	--

 t ( 

--

 ) %

食品残さの加工を行っている場合、食品残さ受入数量 . . . . . 

--	--	--	--	--

 t

エ その他 (具体的な品名と数量を記入)

( ) . . . . . 

--	--	--	--	--

 t

( ) . . . . . 

--	--	--	--	--

 t

( ) . . . . . 

--	--	--	--	--

 t

**【記入上の注意】**

○ エコフィードは、食品工場から排出される食品製造副産物(パン屑、とうふ粕等)、スーパーやコンビニ等から排出される余剰食品(賞味期限切れ弁当等)、飲食店等から排出される調理残さ(カット野菜屑等)、農場残さ(規格外野菜等)を原料として、加熱乾燥、発酵、液状化(リキッド)等の加工処理により飼料化したものです。米ぬか、ふすま、油かす、ビートパルプは含みません。自ら、加熱乾燥、発酵、液状化(リキッド)等の加工処理を行っている場合は、食品残さ受入数量も記入願います。

○ 配合飼料の原料にエコフィードが含まれる場合は、「ウ エコフィード」に配合飼料の利用量を記入するとともに、エコフィードの配合割合をカッコに記入願います。

記入例: ウ エコフィード 2000t (10)%

○ MA米を使用している場合には、「エ その他」に記入願います。

3 飼料用米の今後の利用意向について、○印を1つ記入するとともに年間使用量(予定を含む。)を記入してください。

- ① ( ) 飼料用米の利用を継続したい。 年間 

--	--	--	--	--

 t 程度 (上記2のイと同じ)
- ② ( ) 飼料用米の利用を拡大したい。 年間 

--	--	--	--	--

 t 程度
- ③ ( ) 新たに飼料用米の使用を始めたい。 年間 

--	--	--	--	--

 t 程度
- ④ ( ) 飼料用米の使用を減らしたい。 年間 

--	--	--	--	--

 t 程度
- ⑤ ( ) 飼料用米の使用を中止したい。

4 エコフィード利用の有無と今後の意向

(1) 利用の有無

- ① ( ) あり
- ② ( ) なし

(2) 今後の意向

- ① ( ) 現在、利用を検討中 (年間利用予定数量:     t)
- ② ( ) 今後、利用してみたい。
- ③ ( ) 利用予定なし

**XII 経営の推移と今後の動向** 【①経営体全体の回答 ②Vの右欄の農場について回答】

**1 飼養頭数の推移** (平成28年8月1日現在)

区 分	a 繁殖豚頭数	b 肥育豚頭数
A 増やした(昨年8月1日と比較して)	前年同日より <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 頭増	前年同日より <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 頭増
B 変更していない (変更していない場合 ( ) に○)	( )	( )
C 減らした (昨年8月1日と比較して)	前年同日より <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 頭減	前年同日より <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 頭減
頭数を増やした理由	A ( ) 計画していた豚舎が完成したので増頭した。 B ( ) 後継者が経営に参加したので増頭した。 C ( ) 1頭当たりの生産性が低下したので収入を守るために増頭した。 D ( ) 委託、預託の農場を増やした。 E ( ) 出荷先から増頭の要請があった。 F ( ) 養豚生産者が減少しているのを将来儲かりそうなので増頭 G ( ) 事情により生産を縮小していたのを元に戻した。 H ( ) その他(具体的に: )	A ( ) 計画していた豚舎が完成したので増頭した。 B ( ) 後継者が経営に参加したので増頭した。 C ( ) 繁殖豚1頭当たりの生産性向上のため D ( ) 委託、預託の農場を増やした。 E ( ) 出荷先から増頭の要請があった。 F ( ) 養豚生産者が減少しているのを将来儲かりそうなので増頭 G ( ) 事情により生産を縮小していたのを元に戻した。 H ( ) その他(具体的に: )
頭数を減らした理由	A ( ) 疾病対策で豚を入れ替えるため B ( ) 生産資材(飼料、光熱水料、薬品費等)の高騰で儲からないから C ( ) 高齢化で労働が厳しくなったから D ( ) 労働力が確保出来なくなったから E ( ) 委託、預託農場となるため F ( ) 廃業するため G ( ) 飼料システム・経営形態の変更 H ( ) 環境対策 I ( ) その他(具体的に: )	A ( ) 疾病対策で豚を入れ替えるため B ( ) 生産資材(飼料、光熱水料、薬品費等)の高騰で儲からないから C ( ) 高齢化で労働が厳しくなったから D ( ) 労働力が確保出来なくなったから E ( ) 委託、預託農場となるため F ( ) 廃業するため G ( ) 飼料システム・経営形態の変更 H ( ) 環境対策 I ( ) その他(具体的に: )



**2 養豚経営の今後の意向** (アからウの中から○は1つだけ)

ア ( ) 経営を拡大する。 (○をした方はAからCのどれか1つ○)

- A ( ) 今年中に規模拡大する計画がある。
- B ( ) 3年以内に規模拡大する計画がある。
- C ( ) 今後規模拡大を検討したい。

イ ( ) 現状維持

ウ ( ) 経営を縮小 (○をした方はAからEのどれか1つ○)

- A ( ) 今年中に縮小する計画がある。
- B ( ) 3年以内に縮小する計画がある。
- C ( ) 今後縮小を検討したい。
- D ( ) 今年中に廃業する計画がある。
- E ( ) 近く廃業したいと考えている。

(DまたはEに○をした方はaからfの中からどれか1つ)

- a ( ) 後継者がいないため
- b ( ) 労働力が確保できないため
- c ( ) 環境問題のため
- d ( ) 負債があるため
- e ( ) 生産資材(飼料等)の高騰で儲からないから
- f ( ) その他(具体的に: )

**XIV 衛生レベル** 【①経営体全体の回答 ②Vの右欄の農場について回答】

**現在取り組んでいる防疫対策について**

**1 農場における人の入退場について** (アからサの中から○はいくつでも)

- ア ( ) 衛生管理区域であることをしめす看板等の設置
- イ ( ) シャワーイン・シャワーアウトの実施
- ウ ( ) 農場専用の衣服への交換
- エ ( ) 農場専用の履物への交換
- オ ( ) 豚舎専用の衣服への交換
- カ ( ) 豚舎専用の履物への交換
- キ ( ) 農場専用の踏み込み消毒槽の設置
- ク ( ) 豚舎専用の踏み込み消毒槽の設置
- ケ ( ) 来場者名簿の設置
- コ ( ) 防疫上問題となる場所からの一定期間の入場制限
- サ ( ) 何も対策をしていない。

**2 豚の導入時の対応について** (〇はいくつでも)

- ア ( ) 農場から離れた隔離検疫施設で一定期間の隔離検疫を実施している。
- イ ( ) 農場内の隔離検疫施設で一定期間の隔離検疫を実施している。
- ウ ( ) 豚舎内の離れた豚房で一定期間隔離検疫を実施している。
- エ ( ) 隔離検疫は特に実施していない。
- オ ( ) 外部からの生体導入は一切していない。

**3 農場内への資材(農場内で使用する器具・機材等)の搬入時の対応について** (〇はいくつでも)

- ア ( ) 倉庫等に一定期間おいてから消毒し搬入している。
- イ ( ) 消毒をしてから搬入している。
- ウ ( ) 倉庫等に消毒せずに一定期間おいてから搬入している。
- エ ( ) 特別な対策はせずに直接搬入している。

**4 車輦の入退場の対応について** (〇はいくつでも)

- ア ( ) 外来車輦の消毒を実施している。
- イ ( ) 出荷トラックの消毒を実施している。
- ウ ( ) 消毒ゲートを設置している。
- エ ( ) 動力噴霧機を設置している。
- オ ( ) 石灰帯を設置している。
- カ ( ) 必ず農場職員が消毒の実施又は確認している。
- コ ( ) 特に対策は実施していない。

**5 野生動物の侵入防止策について** (〇はいくつでも)

- ア ( ) 畜舎の破損状況を確認し、必要な修繕を実施している。
- イ ( ) 農場周囲に金網等を廻らせ、必要な修繕も実施している。
- ウ ( ) 豚舎の開放部に防鳥ネット等を張って、必要な修繕も実施している。
- エ ( ) ネズミ駆除等を実施している。
- オ ( ) 特別な対策はしていない。
- カ ( ) その他の対策 (具体的に : )

**1 畜産業関係の悪臭苦情の対応について**

**ア 過去1年以内に住民等から悪臭苦情が寄せられたことがありますか。** (A,Bのどちらかに○)

A ( ) ある (○をした方はaからcの中から○は1つだけ)

- a ( ) 近隣の住民より直接
- b ( ) 県・市・町・村の公的機関を通して
- c ( ) その他(具体的に: )

B ( ) ない

**イ (アでAと回答した方) 苦情を減らすための方法等を公的機関に相談しましたか。** (A,Bのどちらかに○)

A ( ) 相談した。 (○をした方はaからfの中から○は1つだけ)

- a ( ) アドバイスを試したところ、有効であった。
- b ( ) アドバイスを試したが、有効でなかった。
- c ( ) アドバイスを試したが、まだ効果があったかどうかわからない。
- d ( ) アドバイスを試さなかった。理由は参考にならないと判断したから
- e ( ) アドバイスを試さなかった。理由はコストが高かったから
- f ( ) まだアドバイスを受けていない。

B ( ) 相談しなかった。 (○をした方はaからdの中から○は1つだけ)

- a ( ) どの公共機関に相談してよいかわからなかったから
- b ( ) アドバイスは必要ないと感じたから
- c ( ) 公的機関以外に相談しているから
- d ( ) その他

**ウ 悪臭苦情の対策として、公的機関に対して、今後、特にどのような役割を期待しますか。**

(AからFの中から○は1つだけ)

- A ( ) 悪臭苦情の対策についての有効な情報を提示して欲しい。
- B ( ) 畜産農家対象の悪臭対策の勉強会や講習会を開いて欲しい。
- C ( ) 小・中学生が畜産や農業に親しめるようなイベント活動を開いて欲しい。
- D ( ) 市民農園、家庭菜園を持っている住民や耕種農家に堆肥を無料譲渡できるような仕組みを作って欲しい。
- E ( ) 住民との話し合や交流の場、機会を提供して欲しい。
- F ( ) その他(具体的に: )

2 ふん尿の処理状況 (平成27年1～12月)

ア 飼養している豚のふん尿の処理量について、処理状況別の割合を記入してください。

(放牧した期間は除く。) (該当する項目に数値を記入。ふん、尿、ふん尿混合別にそれぞれの合計は100%)

	① ふん	② 尿	③ふん尿混合
A 自家処理施設	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %
製造した堆肥・液肥の散布・譲渡先を教えてください (複数選択可)			
	a ( ) 経営内圃場に散布		
	b ( ) 経営外圃場に無償で散布		
	c ( ) 経営外圃場に有償で散布 (わら等と交換している場合は有償に含める)		
(該当する処理がある場合)	d ( ) 無償譲渡		
	e ( ) 有償譲渡 (わら等と交換している場合は有償に含める)		
B 共同処理施設*	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %
C 公共下水道処理施設	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %
D 廃棄物処理業者に委託	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %
E その他	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %
	1 0 0 %	1 0 0 %	1 0 0 %

\* 共同処理施設とは、「数戸が共同で施設を設置して処理する場合」又は「堆肥センターでの処理」をいう。

→イ (アでAまたはBと回答した方) 処理方法を教えてください。 (該当する項目に数値を記入。ふん、尿、ふん尿混合別にそれぞれの合計は100%)

	① ふん	② 尿	③ふん尿混合
A 天日乾燥	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %
B 火力乾燥	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %
C 強制発酵*	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %
D 堆積発酵**	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %
E 焼却	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %
F 浄化	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %
G 貯留	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %
H その他	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %
	1 0 0 %	1 0 0 %	1 0 0 %

\* 強制発酵とは、「開閉式または密閉式の強制通気攪拌方式の処理施設での発酵」又は「送風措置を備えた堆肥舎での発酵」又は「貯留槽での曝気処理」をいう。

\*\* 堆積発酵とは、「堆肥舎に堆積し、時々切り返しながらか発酵させる場合」をいう。

ウ 水質汚濁防止法の特定施設の届出をしていますか。 (A、Bのどちらかに○)

A ( ) 届出をしている

・ 年1回以上、硝酸性窒素等について水質検査をしています (a、bのどちらかに○)  
 (※特定施設の届出をしている場合、排水基準に定められた事項(硝酸性窒素等など養豚に  
 関係するもの)について、年1回以上、水質の測定・記録・保存が義務付けられています。)

a ( ) はい

・ 水質検査の測定値を教えてください。

・ 硝酸性窒素等<sup>※1</sup>

(一般排水基準：100mg/L, 暫定排水基準:600mg/L(H27.7から))

mg/L

※1 アンモニア、アンモニア化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物(アンモニア性窒素×0.4、  
 亜硝酸性窒素、硝酸性窒素の合計量)

・ 窒素<sup>※2</sup>(一般排水基準：120mg/L, 暫定排水基準:170mg/L)

mg/L

・ りん<sup>※2</sup>(一般排水基準：16mg/L, 暫定排水基準:25mg/L)

mg/L

※2 窒素及びリンについては、規制対象地域外の場合は、ご記入は不要です。

b ( ) いいえ

B ( ) 届出をしていない(届出は不要である)

XII アニマルウェルフェアについて【①経営体全体の回答 ②Vの右欄の農場について回答】

ア アニマルウェルフェア、動物福祉、または快適性に考慮した家畜の飼養管理(※)という言葉を知っていますか。

(A、Bのどちらかに○)

A ( ) 知っている (○をした方はaからdの中から○は1つだけ)

a ( ) アニマルウェルフェアの考え方を取り入れている。

i ( ) 「アニマルウェルフェアの考え方に対応した飼養管理指針(※※)」に従って取り入れている。

ii ( ) 「アニマルウェルフェアの考え方に対応した飼養管理指針」には従っていない。

b ( ) アニマルウェルフェアについて何らかの対応を検討中または検討予定。

c ( ) アニマルウェルフェアについて具体的に十分理解していないので、さらに情報が欲しい。

d ( ) 聞いたことはあるが、内容をよく知らない。

e ( ) 対応の予定はない。

B ( ) 知らない

※アニマルウェルフェア(Animal Welfare)は、日本語では、「動物福祉」や「家畜福祉」と訳される場合があります。しかし、「福祉」という言葉が社会保障を指す言葉としても使用されていることから、本来の「幸福」や「良く生きる」という考え方が十分に反映されておらず、誤解を招くおそれがあります。このため、家畜(産業動物)においては、「アニマルウェルフェア」を「快適性に配慮した家畜の飼養管理」と定義しています。

※※(公社)畜産技術協会作成



イ 繁殖用雌豚の飼養管理にストールを常用（※）していますか。

※常用＝種付け後約4週間から分娩予定日の1週間前までの期間を除き、ストール飼いをしている。

(A、Bのどちらかに○)

A ( ) はい (○をした方はa、bどちらかに○)

a ( ) 今後、群飼育を検討したい。  
b ( ) 今後も群飼育を検討する予定はない。

B ( ) いいえ (群飼育をしている)

ウ 以下の処置を行う際に麻酔処置を行っていますか。 (a、bどちらかに○)

A 去勢

a ( ) はい  
b ( ) いいえ (無麻酔)

今後、麻酔下での処置を検討していますか。  
a ( ) はい (a、bどちらかに○)  
b ( ) いいえ

B 歯の切断

a ( ) はい  
b ( ) いいえ (無麻酔)

今後、麻酔下での処置を検討していますか。  
a ( ) はい (a、bどちらかに○)  
b ( ) いいえ

C 尾の切断

a ( ) はい  
b ( ) いいえ (無麻酔)

今後、麻酔下での処置を検討していますか。  
a ( ) はい (a、bどちらかに○)  
b ( ) いいえ

**XII 豚肉輸出** 【①経営体全体の回答 ②Vの右欄の農場について回答】

**あなたの生産している豚肉に係る海外輸出の取組みについて**

(注) A、B、Cは自ら輸出する場合(輸出の収益が自農場に帰属する場合です。通関手続き、輸送等を一部委託する場合があります。)に

○印をつけて下さい。(○は1つ)

A ( ) すでに輸出している。 輸出国 ( ) 年間 

--	--	--	--	--

 t

B ( ) 輸出に向けて準備中 輸出予定国 ( )

(A又はBに該当する場合、aからdの該当欄に○)

a ( ) 自ら輸出ルート構築(または構築予定)  
b ( ) 農協系ルートを利用(または利用予定)  
c ( ) 大手ハムメーカールートを利用(または利用予定)  
d ( ) 飼料メーカールートを利用(または利用予定)

C ( ) 機会があれば輸出したい。 輸出希望国 ( )

D ( ) 販売・出荷した豚肉が、販売先から輸出されたと聞いている。 輸出先国 ( )

E ( ) 特に考えていない。

**XVII 農場HACCP導入の取り組みについて** 【①経営体全体の回答 ②Vの右欄の農場について回答】

農場HACCPを導入していますか。 (A、Bのどちらかに○)

A ( ) 導入している。

B ( ) 導入していない。 (○をした方はaからdの中から○は1つだけ)

a ( ) 現在申請中。
b ( ) 導入を検討しているところ。
c ( ) 現時点で導入する予定はないが、今後検討したい。
d ( ) 導入予定はない。

**XVIII チェックオフ制度について**

ア 養豚のチェックオフ制度は、豚肉の消費拡大等に必要な活動のためにすべての生産者から売上額の一部を徴収し、基金化するものである。

アメリカでは、1960年代から養豚業の発展と収益性の向上のため生産者団体がチェックオフを任意に実施し、その後他の食肉との競争の高まりにより消費減退が進んだことから1985年に法制化（販売額の0.4%を徴収）された。イギリス、韓国などでもチェックオフが法制化されている。我が国においてもTPP発効後の安価な輸入豚肉との競争力をつけるためにも、養豚生産者が一丸となって国産豚肉を消費者へPRする必要がある。政府でも「総合的なTPP関連政策大綱」において「検討の継続項目」の一つとして、チェックオフ制度の導入が検討されている。このような状況をご存じでしたか (A、Bのどちらかに○)

A ( ) 知っている。

B ( ) 知らなかった。

イ 豚肉におけるチェックオフの導入について (○は1つだけ)

A ( ) 積極的に参加する。

B ( ) 徴収する額しだいで参加を検討する。

C ( ) チェックオフの徴収金で何をするかにより参加を検討する。

D ( ) すべての生産者が参加することが条件であれば参加する。

徴収するとした場合に妥当と思う金額 ( ) 円/頭
------------------------------

E ( ) チェックオフの導入の必要性を感じない。

**Ⅹ その他**

ア 種豚改良を進める上で、重要と考える改良形質は何ですか。 (○はいくつでも)

A ( ) 産子数

B ( ) 増体性

C ( ) 飼料要求率

D ( ) ローヌ芯の太さ

E ( ) 背脂肪の厚さ

F ( ) 筋肉内脂肪含量

G ( ) 体型

H ( ) 長命連産性

I ( ) その他 (具体的に: \_\_\_\_\_ )

イ 今後養豚経営に必要と考える技術開発について記入して下さい。

( )

- ご協力ありがとうございました。